２０２１年度　文部科学省　中卒認定　理科　柱状図から地層を対比

文部科学省　２０２１年度　中学校卒業程度認定試験　理科

文部科学省ウェブサイト利用規約（公共データ利用規約　第１．０版準拠）

対象ページを抜粋し、出典表紙を追加。

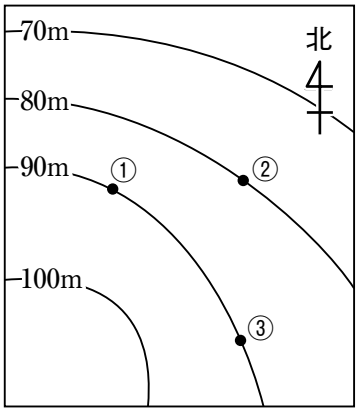
https://www.mext.go.jp/content/20230427-mxt_syogai02-mext_1422378_04rika.pdf

https://www.mext.go.jp/b_menu/1351168.htm

6 地層の重なり方について話し合っている。

土田：　学校の近くの地形図を手に入れました。**図 1** に示されている地点①，②，③の地下はどうなっているのでしょうか。

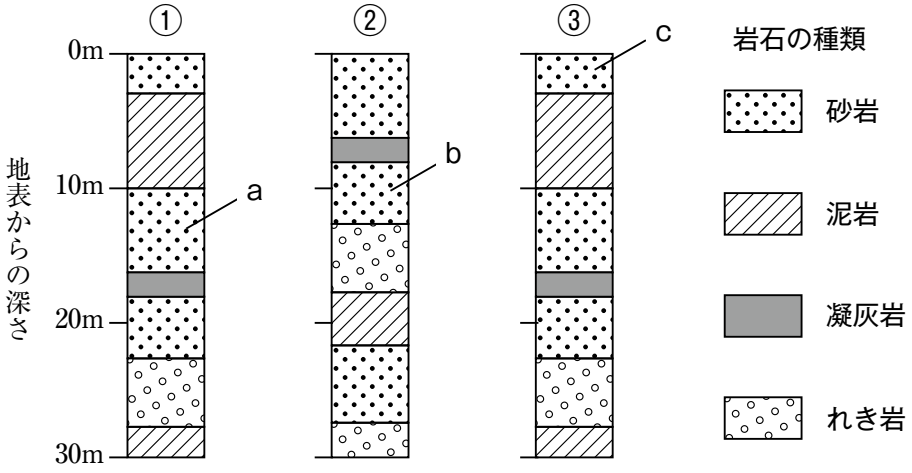
図 1



掘内：　これらの地点のボーリング調査の結果を手に入れたらよいのではないでしょうか。

先生：　それならありますよ。ボーリング調査した結果を柱状図で表したものが**図 2** です。

図 2



土田：　いろいろな岩石の層でできているのですね。

掘内：　これらの地層はどのようにつながっているのかな。

土田：　地点①，③の標高は 90 m だから，地表からの深さ 0 m は，標高 90 m ということになりますね。

掘内：　同じように考えると，地点②の標高は 80 m だから，地表からの深さ 0 m は，標高 80 m となりますね。

先生：　この地域は，断層やしゅう曲はなく，各層は平行に重なっています。そして，地点①，②，③の凝灰岩の層の成分の調査から，どれも同じ時期の噴火でできた地層であることがわかっています。

では，図 2 の柱状図の中にある砂岩の層ａ，ｂ，ｃはどの順番に堆積したと考えられますか。

土田：　凝灰岩の層に注目して考えるとわかりそうですね。

問い

下線部において，柱状図の中にある砂岩の層ａ，ｂ，ｃがどの順番に堆積したのか，古い地層から新しい地層の順に並べなさい。答えは，解答用紙のらんに書きなさい。